

笹川保健財団 地域啓発活動助成

(西暦) 2020年 2月14日

公益財団法人 笹川保健財団  
会長 喜多悦子 殿

## 2019年度地域啓発活動助成

### 活 動 報 告 書

標記について、下記の通り活動報告書を添付し提出いたします。

#### 記

活動課題

---

訪問看護を知っていますか?～「時々病院ほぼ自宅」～

活動団体名：

活動者（助成申請者）名： 山田 富恵

## 1.活動の内容・実施経過

山田富恵は、東京都江東区内および中央区において、貴財団の助成を受けて以下の内容と日程で地域啓発活動を行った。活動課題は『訪問看護を知っていますか?～「時々入院ほぼ在宅」～』とし、江東区で5回、中央区で2回開催した。実施日程、内容、参加者は以下の表-1に示す。

表-1

地区	開催場所	開催月日	内容	参加人数
江東区【深川】	深川集会所	2019年4月 27日	「もしも生活に手助けが必要になったら？」 社会福祉協議会 地域包括支援センター 在宅診療医を交えミニ講話と歓談	13人 (ケアマネジャー2人、地域包括支援センター職員2人、社会福祉協議会職員1人、在宅医・事務2人、一般6人)
	富岡区民館	2019年6月 29日	「もしも認知症になったら？」	3人(薬剤師1人、在宅医・事務2人、一般0人)
	富岡区民館	2019年8月 24日	「もしも口から食べられなくなったら？」	14人(在宅医・事務2人、一般12人)
	富岡区民館	2019年11月 2日	「もしもかかりつけの病院に通えなくなったら？」 “私の手帳”配布	6人(在宅医・事務2人、一般4人)
中央区【勝どき】	勝どき区民館	2019年7月 20日	「もしも「生活に手助けが必要になったら？」	2人(一般2人)
	勝どき区民館	2019年9月 21日	「もしも認知症になったら？」	3人(一般3人)
江東区【東陽】	アイルビー訪問看護ステーション「ケアの駅」予定スペース	2020年1月 22日	「認知症を予防するおしゃべりと軽体操」	3人(社会福祉協議会2人、一般1人)

2 か所での開催を目標として、偶数月に江東区【深川】、奇数月に中央区【勝どき】地域での開催を予定した。初回開催まで時間をかけて各地域の地域包括支援センターや社会福祉協議会、薬局を複数回り、地域啓発活動の趣旨や予定の説明、各回のテーマに沿って協力を依頼した。協力をお願いした機関の職員はどこも大変協力的で、必要性が高いと活動の趣旨に強く賛同があった。そのため【深川】の初回開催には各所から専門職の参加が多くあった。しかしその後、本業の訪問看護業務が多忙となり、5月の【勝どき】初回開催を7月に延期せざるを得なくなった。その結果、月島地域の専門職のスケジュール調整が困難となったこと、また手配りでチラシを各所においていただくことの依頼が遅くなり、会の開催周知が難しくなった。【深川】地域は訪問看護の事務所近隣であるため、訪問の合間や休み時間に、チラシを置いていただく依頼や町内会に持参して回覧板の依頼、掲示板への貼り出し、加えて通勤の合間に一般者宅へポスティングを行うことで参加者確保に努めた。しかし、本業である訪問看護を行いながらのチラシの頒布が、事務担当者と案分しても負担が大きい割に反応が乏しく、6月の【深川】では一般参加者0人だった。そのため7月の【勝どき】開催周知から新聞折込を利用した。さらに地域活動を拡張する予定で、本業の訪問看護事務所を2019年11月に移転した。11月は【勝どき】の開催予定であったが、事務所移転と本業の繁忙により開催を見送り、【勝どき】開催は終了、新たに江東区【東陽】の地域に変更し、より参加しやすいよう運動中心のテーマで開催した。

## 2.活動の成果

全部で7回開催し、専門職を含め44人の参加があり、うち一般者は28人の参加があった。この地域啓発活動は、毎回テーマを決めて“(生)老病死”の中で自分や家族が通るかもしれない状態を「もしも〇〇になったら」として挙げ、地域サービスとその中の訪問看護を知り、自分の住んでいる地域で困ったときの相談先と情報を得る先を知ることができることを理解目標とした。結果として、アンケートの自由記載や、会の最中あるいは帰る時の感想として、ほぼ全員から下記のような言葉があったことから、理解目標は達成できたと考える。さらに副反応として、専門職らが一般者の「生の声」や他職種の困っている具体的な話を聴くことができ、自分たちの役割を一般の方に知られていないのだと認識できる機会になったと考える。

一般者からは、

- ①いろいろなこと（この地域のサービス）を教えてもらって自分の知識となった
- ②自分の住んでいる地域のサービスが分かった
- ③このような会は本当に必要。ぜひ続けて欲しい

専門職からは、

- ④もっと（サービスを）知ってもらおう努力をしないといけないということが分かった
- ⑤他専門職と話せる機会があつてすごくよかった

毎回、地域包括ケアシステムの説明に出てくる「植木鉢の図」を印刷して参加者の机の上に置き、説明後に持ち帰っていただくこととした。7月以降の一般参加者は、新聞折込を見て参加した方々のため、全員、新聞から情報を取ることが可能な環境にあったにもかかわらず、全回を通して、一般者はだれも「植木鉢の図」を見たことがないと答え、地域包括ケアシステムの中で“本人の選択と本人・家族の心構え”ありきで制度が進んでいることを知らないと答えた。当初の狙いとして、複数回参加していただくことで“本人の選択と本人・家族の心構え”が生成され、「エンディングノート」の書き込みあるいは「私の手帳」の書き込みまでを最終目標に考えたが、単発の参加者が多く、会の中で書き込むまでは至らなかった。

参加者へのアンケート結果は、表-2に示す。アンケートの自由記載内容は、表-3に示す。なお、専門職からのアンケート結果も混在してしまったため、40代、50代の設問の「a)利用している」や「b)何をしてくれるか知っている」が多い結果となった。70代、80代に「c)聞いたことはある」「d)知らない」がみられた。

表-2

地域	年代	男女	設問 1. “訪問看護を” a)利用したことがある b)何をしてくれるか知っている c)聞いたことはある d)知らない	設問 2. “介護保険制度を” a)利用したことがある b)何をしてくれるか知っている c)聞いたことはある d)知らない	設問 3. “地域包括ケアシステムを” a)利用したことがある b)何をしてくれるか知っている c)聞いたことはある d)知らない
江東区【深川】	40代	男 4 女 11	a) 0 b) 4 c) 0 d) 0	a) 0 b) 4 c) 0 d) 0	a) 0 b) 3 c) 0 d) 0
	50代	男 5 女 3	a) 5 b) 2 c) 0 d) 0	a) 4 b) 1 c) 0 d) 0	a) 4 b) 2 c) 0 d) 0

	60代	男1女1	a) 0 b) 2 c) 0 d) 0	a) 0 b) 1 c) 0 d) 0	a) 0 b) 2 c) 0 d) 0
	70代	男1女10	a) 2 b) 4 c) 5 d) 0	a) 2 b) 2 c) 3 d) 0	a) 0 b) 2 c) 3 d) 2
	80代	男1女4	a) 2 b) 1 c) 4 d) 0	a) 0 b) 2 c) 1 d) 1	a) 0 b) 0 c) 0 d) 0
中央区 【勝どき】	70-1	男0女2	a) 1 b) 1 c) 2 d) 0	a) 0 b) 1 c) 1 d) 0	a) 0 b) 1 c) 0 d) 0
	80-1	男0女3	a) 0 b) 1 c) 0 d) 0	a) 0 b) 1 c) 0 d) 0	a) 0 b) 0 c) 0 d) 0
江東区【東陽】	40-1	男0女1	a) 0 b) 1 c) 0 d) 0	a) 0 b) 1 c) 0 d) 0	a) 0 b) 1 c) 0 d) 0
	50-1	男0女1	a) 0 b) 1 c) 0 d) 0	a) 0 b) 1 c) 0 d) 0	a) 0 b) 1 c) 0 d) 0
	80-1	男0女1	a) 0 b) 1 c) 0 d) 0	a) 0 b) 1 c) 0 d) 0	a) 0 b) 1 c) 0 d) 0

表-3

アンケートの自由記載	内容要約
初めて伺ったので何もわからずいたのでいい勉強になりました。	会の内容について良好な感想、役に立った
これから主人の介護が始まります。話を聞き良かったです。	
大変勉強になりました。感謝です。	
とても役立つ話が聞けて大変良かった。	
あらためてお話をお聞きし、とても良かったです。	
出席者の話を聞いて参考になった。	
これから勉強したいです。	会の今後への期待、継続の希望
こういう会が地域で定着していくといいなと思いました。	
勉強になりました。また出席したいと思います。	
せっかくの集まりですのに人数が少なくて残念です。今後を楽しみにしています。	
このような会を今後も継続していただきたい。	
有意義なひと時を過ごしました。また伺いたいと思います。	
介護保険でできることをもう一度やったらいいと思います。	内容への要望
一般の方への周知徹底方法をなんとかしないといけないですね。	〈専門職〉 一般者へ届く会の周知方法の問題提起
訪問医診療の医師です。一般参加者が多く安心しました。	
住民の方にもたくさん参加していただけるように当センター内の利用者にも知らせていきたいと思います。	
普段ゆっくり話をすることが出来ない他職種の方とお話できた。困っている事の具体的な話を聞くことができ、もっと薬剤師の仕事を知ってもらおう努力をする必要があると思った。	〈専門職〉 地域で専門職がつながる機会が持てた
事業説明をさせていただきありがたかったです。専門機関と繋がれてよかったです。地域の方とのグループワークも様々な声を聴けて勉強になりました。	
退院を目前にご家族が不安を抱えていらっしゃる話を伺うことができました。	〈専門職〉 一般者の「生の声」を聴くことができた
住民の方の生の声が聞けて勉強になりました。	
一般の方の声を聴けたのは大変参考になりました。次回も出席させていただきたいを思います。	

### 3.今後の課題

今後の課題は①周知集客方法、②場所の確保、②アンケート方法、③専門職の参加確保、④継続するための原資の確保だと考える。

今回、貴財団に助成していただき地域の為に貴重な活動を行えたことを深く感謝する。